

変わらない美しさと共に。ステンレスのキッチン

ステンレスのキッチン、と聞いたとき多くの人はず業務用キッチンを思い浮かべるでしょう。ステンレスは錆びにくく、耐久性があり、カビや臭いがつきづらく、衛生的で掃除がしやすいという特徴をもちます。

衛生的で長持ちするキッチンを持ちたいという願いは一般家庭にも共通することです。もしあなたの大切なキッチンが、常に湿気に強く、汚れを落としやすく、お手入れが簡単で、長持ちするとしたら……。そんな思いにこたえるキッチンがあります。『ステンレスエコキャビネット』を搭載する、クリナップのステンレスキッチンです。



ステンレスを使った、日本の『システムキッチン』

1973年、日本で初めて、1枚につながったワークトップをもつモジュール式キッチンである『システムキッチン』がクリナップより発売されました。これは当時欧州で主流だった、1枚のワークトップを用いたオーダーメイド式キッチンに着想を得て開発されたもので、今では日本の家庭用キッチンの一般的なスタイルとして広く普及しています。システムキッチンは、ワークトップ、キャビネット、シンク、加熱機器、水栓などを自由に組み合わせられるほか、それらの素材や色なども自分の好みに応じて選ぶことができます。インテリアに溶け込むよう、木目調やセラミック調などといった選択肢の中からデザインを選び、自分だけのオリジナルキッチンを作ることができるのです。



なぜステンレスなのか？—長く使えるデザイン

いまではシステムキッチンを製造する企業は多くありますが、なかでもクリナップは、当初からその素材としてステンレスを使用することにこだわりを持っています。例えば、システムキッチンの登場からわずか2年後の1975年に発売された、ステンレス製キャビネットキッチン『さくら DX』は、30年使ったあとでもなお強く、輝きを保ち、美しいことが証明されています。



このステンレスキッチンは30年間にわたる使用後もなお、きれいな状態のままだった

写真のキッチン是一般の家庭で30年以上使われた実際のキッチンです。サビやカビは一切検出されず、構造を調べてみると、元の機能が完全に維持されていることが分かりました。キャビネットの裏側や内部を含むすべての部分が、元の美しい状態を保っていたのです。これらはステンレスの持つ特性により実現されたものと言えます。



2011年には、新たに『ステンレスエコキャビネット』が登場しました。多くのキッチンメーカーがキャビネット部分に木材を使用するなか、『ステンレスエコキャビネット』はキッチンの構造部分、側面部分、底面部分、さらには引き出しの底面部分にさえもステンレスを使用しています。ステンレスは日常的に水に晒されることで発生するカビや臭いに強く、清潔さを保ちながら長期間の使用にも耐えるため、キッチンの、特に掃除がしづらい部分にとっては最適な素材です。



ステンレスキッチンが描くサステナブルな未来

ステンレスはリサイクル率95% ([Karlsruhe Institute of Technology and Team Stainless, 2022](#))を誇る、リサイクルが容易な素材です。寿命を迎えたステンレスはスクラップとして回収され、ダウンサイクルされることなく、新たなステンレスの製造にそのまま使用されています。『ステンレスエコキャビネット』は、ステンレスを使用する環境にやさしい製品というだけでなく、分解とリサイクルがしやすい構造を採用することで、より一層サステナブル

ルな製品となっています。シンプルな設計でありながら、曲げ加工の工夫により強度は向上。また、ステンレス以外の材料の使用を最小限に抑えることで、接着剤の使用を減らし、低 VOC 仕様を実現しているのです。



簡易解体構造にすることでステンレス以外の材料を最小限にするほか、接着剤の使用も低減している

ステンレスキッチンの普及に努めるクリナップは、『キッチンキャビリサイクルプログラム』も提供しています。ステンレスキッチンが製品寿命に達した後、新しく『ステンレスエコキャビネット』搭載のキッチンに買い替える際は、古いキッチンは査定、及び回収ののち、リサイクルされる仕組みです。

ステンレスキッチンを選択するということ。それは日常生活におけるサステナビリティの実現を助ける、シンプルで目に見える確かな一歩となり得るのです。

(写真は全てクリナップ提供)